

令和4年7月28日（木）

第7回定例教育委員会会議録

我孫子市教育委員会

1. 招集日時 令和4年7月28日(木) 午後2時
2. 招集場所 教育委員会 大会議室
3. 出席委員 教育長 丸 智彦 委員 足立 俊弘
委員 蒲田 知子 委員 村松 弘康
委員 新山 訓代
4. 欠席委員 な し
5. 出席事務局職員
教育総務部長 飯田 秀勝 生涯学習部長 菊地 統
生涯学習部次長兼生涯学習センター長兼生涯学習課長兼公民館長 小林 裕
総務課長 森田 康宏 学校教育課長 鈴木 伸樹
教育相談センター所長 遠藤 美香 少年センター長 森谷 朋子
指導課長兼小中一貫教育推進室長 佐々木 祐子
文化・スポーツ課長兼白樺文学館長兼杉村楚人冠記念館長 辻 史郎
鳥の博物館係長 木村 亜由美 図書館長 穂村 喜代子
6. 欠席事務局職員 な し

午後 2 時 0 0 分開会

○丸教育長 ただいまから令和 4 年第 7 回定例教育委員会を開会します。

会議録署名委員指名

○丸教育長 日程第 1、我孫子市教育委員会会議規則第 3 1 条の規定により、会議録署名委員を指名します。新山委員にお願いします。

議案第 1 号

○丸教育長 日程第 2、議案の審査を行います。

議案第 1 号、我孫子市指定文化財の指定について、事務局から説明をお願いします。

○辻文化・スポーツ課長 議案第 1 号、我孫子市指定文化財の指定について説明します。

提案理由は、市内に所在する重要な文化財として、杉村楚人冠陶板句碑を我孫子市指定文化財に指定するため、提案するものです。本件の指定については、令和 4 年 6 月 2 4 日に開催された我孫子市文化財審議会に諮問し、令和 4 年 6 月 2 4 日付けで答申されました。

3 ページ、「指定調書」について、「1) 種別」有形文化財（美術工芸および歴史資料）、「2) 名称および員数」杉村楚人冠陶板句碑（台座は含まず）1 基、「3) 所在地」我孫子市緑 2 丁目 4-2 4 です。こちらは杉村楚人冠記念館から南西に約 2 0 0 メートルに位置する楚人冠公園内に残されており、かつては杉村楚人冠の屋敷内にありました。「4) 構造 形式」円形の石製の台座上に、陶板を組み合わせて、将棋の駒のような形状で造られた碑です。正面中央の陶板を 4 枚並べた面に、「筑波見ゆ冬晴の洪いなる空に」という杉村楚人冠の書による俳句を刻んでいます。背面には、昭和 2 6 年に我孫子に在住してい

た河村蜻山が杉村楚人冠をしのんで作陶した経緯が記されています。「5) 制作年代」は、杉村楚人冠の七回忌命日に造られたものです。「6) 所見」は、大型の陶板を組み合わせて作った句碑は非常に技術的にも難しく、陶板は焼いていくと、ひずみや裂けができてしまいますが、上手く収めて1つの陶板句碑に仕上げているところが、技術の高さを示しています。また、制作した河村蜻山は、「焼き物も一つの芸術」だとして、「陶芸」という表現を初めて使った人物とされています。川村蜻山は、京都で生まれて活躍をしてきた人ですが、昭和13年に我孫子に移住して、柳宗悦が住んでいた三樹荘跡に窯を作って「深草窯」と命名し、昭和34年まで我孫子で創作活動を営んでいました。地元には杉村楚人冠と親交を結び、俳句を学び「湖畔吟社」という結社を共に作成し、芸術を高めていったとされています。「7) 結論」として、杉村楚人冠陶板句碑は、川村蜻山の非常に高い技術を示す大型の句碑であり、我孫子ゆかりの文人である杉村楚人冠の自筆の句「筑波見ゆ冬晴の洪いなる空に」を刻んだものとして、我孫子の歴史文化の高さを示すものとして非常に重要であるとして、我孫子市の指定文化財に相当であると思われま。

なお、「指定範囲」について、もともとは大谷石の切り石をモチーフにした台座の上に組みまれていましたが、我孫子市で土地を取得した際に傷んでいた台座を換えたため、台座より上の部分を指定範囲としています。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。以上で説明が終わりました。

これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いします。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

○丸教育長 これより採決します。

議案第1号、我孫子市指定文化財の指定について、原案に賛成の委員は挙手

を願います。

(賛成者挙手)

○丸教育長 ありがとうございます。挙手全員と認めます。よって議案第1号は可決されました。

議案第2号

○丸教育長 続いて議案第2号、財産の取得について、事務局から説明をお願いします。

○鈴木学校教育課長 議案第2号、財産の取得について説明します。

本議案は、市内小中学校に設置しているテレビの老朽化が進み、更新が必要なことから、児童生徒の効果的な学習環境を整備するため、大型液晶ディスプレイの購入について議会に上程されるよう、市長に依頼するものです。

取得する財産は65型、大型液晶ディスプレイ111台。取得価格は2,170万9,380円。取引先は広文堂NEW・DX株式会社です。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。以上で説明が終わりました。

これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いします。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

○丸教育長 これより採決します。

議案第2号、財産の取得について、原案に賛成の委員は挙手願います。

(賛成者挙手)

○丸教育長 ありがとうございます。挙手全員と認めます。よって議案第2号は可決されました。

諸 報 告

○丸教育長 日程第3、諸報告を議題とします。まず、事前に配付された事務報告、事務進行予定資料などに追加する4点の事項について報告します。

1点目、我孫子市布佐中学校区の学校の在り方検討委員会について、飯田教育総務部長、お願いします。

○飯田教育総務部長 我孫子市布佐中学校区の学校の在り方検討委員会の開催の報告をします。

7月25日（月）に第1回我孫子市布佐中学校区の学校の在り方検討委員会を開催しました。委嘱した委員12人全員出席し、委員長、副委員長の選出を行い、会議が進行されました。なお、傍聴は5人です。

委員会での主な内容については、これまでの我孫子市布佐中学校区の学校の在り方検討委員会設置までの経緯について、我孫子市学校施設個別施設計画について、適正規模と学校の在り方について、我孫子市小中一貫教育についてなど、初回のため事務局からの説明が中心となりました。

委員の皆様からは、学校の適正規模や我孫子市が目指す子ども像、新木小学校と布佐南小学校の学区の認定条件の現状についての質問や意見、委員の方が都内在住時に通っていた母校を訪問し、合併した際のメリットなどを伺ってきた話、さらには令和2年度に行ったアンケートで、小中一貫校について「分からない」との回答が多かったことに対して、「分からない」と言っている方々を減らしていきたい」などの様々な意見、質問が活発にありました。

最後に委員長からは、子ども達にとって最適な教育環境となることを最優先にして考えていくべきとの意見もありました。事務局からは、今年度はあと2回開催を予定していることや、必要に応じて小中一貫校や現在の布佐中学校区3校の視察も考えていることなどを伝え、1回目の検討委員会を終了しました。

次回以降、布佐中学校区の学校の在り方について、3校を一緒にして小中一

貫校にする場合、2校を小中一貫校にして1校を現状に合わせた規模で残す場合、現状の3校を児童生徒数の規模に合わせた施設としていく場合など、それぞれのメリットやデメリットについて協議をしていく予定です。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。ご質問等ありましたらお願いします。よろしいですか。

○蒲田委員 委員の方々から出たご意見のうち、委員の方の母校を訪問して合併した際のメリットを伺ったとありますが、具体的にはどのような内容だったのででしょうか。

○飯田教育総務部長 委員からは、学区内の児童生徒数が少人数になり、異なった地域と合併したことによって、連帯感が高まったことなどのメリットについてお話がありました。

○蒲田委員 ありがとうございます。

○丸教育長 ほかにはよろしいですか。

私も参加しましたが、話し合いが活発に行われ、とてもよかったと思います。2回目以降も、事務局としての説明を尽くしていきたいと思っています。

続いて2点目、1学期のコロナ対応の状況と夏休み期間中に実施する林間学校等について、鈴木学校教育課長、お願いします。

○鈴木学校教育課長 1学期の市内小中学校における新型コロナウイルス感染症の感染状況等について報告します。

まず学級閉鎖について、1学期中に小学校で4校5学級、中学校で4校6学級の計11学級が閉鎖しました。学年閉鎖については、中学校で2年生の1学年が閉鎖しました。学級閉鎖は、5月19日を最後に一旦落ち着きましたが、報道等にあるように、現在の感染者数の増大と合わせて、7月9日以降では、1学期中に閉鎖した全11学級のうち7学級が閉鎖となっています。学期末に感染者数が増加したことから、20日の終業式を分散登校にした学校や、20

日の終業式を学級閉鎖とした学級については、7月25日、26日を登校日として通知表等を手渡ししました。

次に感染者数について、1学期は昨年度末のオミクロン株の影響が残る中でスタートとなりましたが、6月には感染者数が落ち着き、市内小中学校全体で1日の感染者数が一桁となった状況もありました。しかし、7月以降は再び増加し、最終的には児童生徒の1日の感染者数が200人を超える状況となりました。

夏休み中は、各自が学校で身につけた感染症対策をいかして予防し、落ち着いた状況で2学期を開始できることを願っています。

次に、夏休み期間中に実施する林間学校について、7月は小学校3校で林間学校を予定しており、2校が無事予定どおり終了しています。残りの1校についても、本日帰ってくる予定です。予定していた3校とも市内の感染者数が落ち着いていたため、当初の予定どおり実施することができました。以上です。
○丸教育長 ありがとうございます。ご質問等ありましたらお願いします。
——よろしいですか。

続いて3点目、トロイメルコンサートについて、辻文化・スポーツ課長、お願いします。

○辻文化・スポーツ課長 トロイメルコンサートについて、説明します。

昨年度に2回企画しましたが、新型コロナの影響により中止となったトロイメルコンサートを今年度は8月28日に湖北地区公民館のホールで実施します。

出演者は、我孫子市湖北中学校出身の方々も含んだ精力的に活動している若い方達です。このように精力的に活動している若い方達の発表の場をこれからも積極的に企画していきたいと思っています。ぜひご観覧ください。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。ご質問等ありますか。

昨年度は何としても実施したかったのですが、新型コロナの影響により中止

となってしまったので、今年は何としても企画していきたいと思っています。

それでは4点目、我孫子市スポーツ推進計画策定に係るアンケート調査について、辻文化・スポーツ課長、お願いします。

○辻文化・スポーツ課長 現在、文化・スポーツ課では令和4年度内の策定を目標として、我孫子市スポーツ推進計画を策定しています。

策定を検討する中で、まず我孫子市のスポーツをめぐる現状を把握するため、アンケートを実施したいと考えています。アンケートの調査方法は、若い方から回答してもらえよう、スポーツ推進計画にかかるアンケート実施のチラシにQRコードを記載し、ネットから回答していただく方法で行います。その他にも、スポーツ施設等にアンケート用紙を配置して、紙でも回答できるようにします。アンケートの内容は、スポーツ庁で取っている統計とある程度内容を合わせ、国で把握しているスポーツの現状と我孫子市の現状を比較できるようにし、これをもとに我孫子市のスポーツ行政の中で足りないものや今後の展望などを計画に反映していきたいと思えます。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。スポーツ推進計画策定に係るアンケート調査についてご質問等あればお願いします。——よろしいですか。

それでは、ないようですので、これより事務報告に対する質疑に入ります。質疑があれば挙手をお願いします。

○蒲田委員 鳥の博物館の「鳥のサイエンストーク【オンライン開催】」について、いつもは見逃し配信があるのですが、今回見逃し配信を行っていないのはなぜでしょうか。

○木村鳥の博物館係長 今回の鳥のサイエンストークの見逃し配信は、発表前の内容が含まれていることや講師の都合により、実施しないこととしています。

○蒲田委員 はい。ありがとうございます。

○丸教育長 ほかにご意見、質問等ありましたらお願いします。——よろし

いですか。

それでは、ないものと認めます。事務報告に対する質疑を打ち切ります。

次に、事務進行予定について質疑があれば挙手をお願いします。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。事務進行予定に対する質疑を打ち切ります。

次に教育事業全般について、質疑があればお願いします。——はい。それではないものと認めます。

以上で諸報告に対する質疑を打ち切ります。